



3学期が始まりました

保護者の皆様、地域の皆様、新年あけましておめでとうございます。

7日（金）には、久しぶりに元気な子供たちに会うことができ、うれしく思いました。オンラインによる始業式では、子供たちに、①コロナウイルス感染症予防に努めてほしいこと、②自分で決めた目当てに向かって精いっぱい取り組んでほしいことの二つを話しました。

3学期は、進級や卒業に向けて、学年の総まとめをする大事な時期です。教職員一同、子供たちの健やかな成長を願って努めていきますので、学校運営に対して、ご理解とご協力の程、よろしく申し上げます。

3学期の学校運営とコロナ対策について

3学期の学校運営を考えるうえで、考慮しなければいけないのが、やはりコロナウイルスの感染状況です。現在、日本全国に目をやれば新規感染者が急激に増えていると言わざるを得ません。県内も例外ではありません。「第6波は来る、来なければ儲けもの」と考えて、学校運営をしていくのが妥当だと考えます。現段階においての学校の思いをお知らせしておきます。



○新学期初めは要注意！

年末年始には、いつもより人の流れが多く、日頃会わない人との出会いも多かったと思うので、この冬休み明けは、城端小学校の近くでも心配です。特に、今週末までは、コロナ予防の強調週間だと考え、これまでやってきたマスク着用、手洗い、消毒、換気等の予防対策を意識して行いたいと思います。また、始業式をオンラインで行ったように、学年をまたいだ子供の交流を少なくなるように工夫します。今週は、縦割りで行うなかよし清掃は実施せず、学年別清掃とします。14日（金）に予定していた集団登校は行いません。避難訓練も延期します。

○スキー学習は、昨年どおりのやり方で実施

他校のスキー学習と一緒にする日はありますが、昼食・休憩場所のガレージは城端小学校単独で使用させてもらうようお願いしてあります。昨年どおり、IOX・アローザスキー場からは、マスクかネックウォーマーを着けてなければリフトやゴンドラに乗らせてもらえないように言われています。準備を忘れないようにお願いします。

○卒業式について

令和3年度の卒業式が3月17日（木）と決まりました。本来なら大勢で卒業を祝いたいところではありますが、無理をせず、『昨年よりも一歩前進』を目指して、今年の

卒業式については、今のところ、次のように考えています。(学習発表会で実施した方法を参考に考えてみましたが、コロナの感染状況によって変更することがあります。)

○卒業式への参加児童は、昨年同様、6年生と5年生。4年生以下は、教室においてオンラインで参観します。5年生には、式に臨む6年生の姿を目に焼き付け、最高学年に向けての意欲を高めてほしいと思います。

以下の点については、昨年よりも一歩前進を考えています。

○マスク着用で式に参加し、卒業証書をもらう時は、マスクを外します。卒業交歓の詩は、ひな壇で行い、マスクを着けて歌も歌います。

○保護者の出席は、制限を設けませんが、少ない人数でお願いします。

○来賓は、市長・PTA会長・教育振興会長に加え、学習発表会と同じように、市議会議員・学校評議員を招待します。

○式後の見送りは、全校で行います。



米作り引継ぎ集会

ご承知のように、本校では、済美の学習(総合的な学習の時間)で5年生が『田んぼの学校(米作り)』をしています。12月23日(木)には、5年生が、来年度米作りを行う4年生に米作りの引継ぎを行いました。

この引継ぎ集会に向けて、5年生は、作業の工程やその時に考えていたことをプレゼンテーションにまとめ、練習を繰り返してきました。当日は、グループごとに、練習の成果を発揮し、4年生にはきはきと発表していました。写真が多く取り入れられていて分かりやすかったです。聞いていた4年生もたくさん質問していました。最後には、5年生の代表から、4年生の代表へ種もみが贈られました。この種もみを使って、来年の『田んぼの学校』が行われます。



さて、毎年行っている『田んぼの学校』ですが、学習の進め方は5年担任と子供たちの創意に委ねられています。草取りに行く回数、売り方、儲けの使い道も年によって違います。引継ぎ集会の仕方も、今の6年生は体育館で、全体で行いました。今年は学年フロアで、グループごとに行っていました。グループごとであったので、5年生全員の活躍の場があり、聞いていた4年生も気軽に質問していたようでした。

来年度は、どんな『田んぼの学校』になるでしょう。

新しい校務助手が決まりました

12月末に退職された池田さんの代わりに、3学期から樋口友與さんが校務助手として勤務されることになりました。既に、除雪作業等で大活躍していらっしゃいます。これからも本校の環境整備をよろしくお願いします。

(校長 曲師政隆)